



第3回スピーチ集会

沃野



竹富町立
船浦中学校
学校便り
第12号

発行責任者
校長
仲田欣五

「三年生になってから」 (3年 東浜ななみ)

みなさんは学年が上がり、どのようなことを感じているのでしょうか。新しい生活の中で、不安な気持ちを抱いている人はいませんか。私は三年生になり、一、二年生のころとの違いに不安や戸惑いが生じました。



三年生になり、様々な行事がありました。その中で、思い出に残っているのは、初めてのダイビングで、西表の海のキレイさや、サンゴや魚たちの美しさについてあらためて知ることができた体験ダイビングや私たち三年生にとって最後となった炭焼き体験学習です。炭焼き体験では、炭の歴史や作る時の様々な苦労について三年間の体験を通して知ることができました。

このように楽しい思い出を作り、チャレンジ精神が湧いたり、知識を身につけるなど、たくさんの学びに繋がりました。しかし、その反面、楽しいことばかりではなく、いくつかな不安なこともありました。

一つ目は、一、二年生をしっかりとリードしていけるのか、教えることができるのかという悩みです。今でも「しっかり伝わっているのか」とか「分かりやすく伝えられているのか」などと不安になることがあります。

もうひとつ私が不安に思っていることは受験です。私は勉強が苦手でのどの教科も得意ではありません。そんな私が、今になって一、二年の学習を見直しても、もう手遅れなのかもしれないと感じました。一、二年のうちしっかりと勉強しておくべきだったと後悔しています。

みなさんが私のように後悔しないためにアドバイスを送りたいと思います。

行事等で、先輩がどのように動いているか、伝えているのかを意識して見るようにして欲しいと思います。それにより考える力や伝える力が身につく、先輩をリードしていくことができるようになります。そして、船中の伝統を守っていくことに繋がると思います。

また、今勉強していることでわからないことがあったら今のうちに解決して、身につけていたほうが良いと思います。「後になって勉強すれば良い」という考えは自分を苦しめるだけです。自分で計画を立て、自分のやりかたで勉強してみてください。

私はもう遅いかもしれませんが、しっかりと勉強して志望校に合格できるようにがんばりたいです。そして中学校最後の一年、いい思い出をたくさんつくりたいです。みなさんも、学年が変わって気づいたこと感じたことを考えてみてはどうでしょう。

「僕の将来」 (2年 上田脩太)

僕は小学校五年生まで自分の将来について、考えたことがありませんでした。しかし、あるマジックのテレビを見たことをきっかけに六年生になったあたりから自分の将来の夢について考えることが増えていきました。



小学校六年生の一年間は、テレビの影響も有りマジシャンになりたいと思っていました。しかし、中学生になってから考えてみると、やっぱり無理なんじゃないかと思いはじめました。そして考えた結果、マジックは趣味で頑張ることにして、もっと他にやりたいことを探すことにしました。

そんなある日のことでした。あるマンガとの出会いで将来について、より深く考えるようになりました。それは、そのマンガの主人公が言った。「人間は自分を変えてくれたものに憧れる。医者に命を救われた子どもが医者を目指すように、僕は学校の、あの先生に憧れていた。」という言葉がきっかけでした。さらにその主人公は学校の成績があまり良くありませんでしたが、学校の先生のおかげで努力することができ、高校や大学に進学することができました。そして、先生になることを目指すようになり、先生になるというストーリーが僕の心に響きました。

それを踏まえて、僕が憧れる職業は何かということについて考えました。そんな時にチャンスがやってきました。それは、職場体験です。最初は、どの職業を体験しようか迷っていましたが、親や安次先生から「保育園はどうか？」とアドバイスをもらい保育園で職場体験することに決めました。

いざ体験してみると、とても楽しくやりがいのある仕事だと思いました。しかし、もしかしたらどこかでもっとやりがいのある仕事があるのではないかと考えました。この職場体験を通して職業には様々な選択肢があることを学びました。そして、僕は半年間、将来の夢について沢山考えました。

そして、ついにやりたい職業が見つかりました。

その職業は僕自身もびっくりするような職業ですが、思い返してみると実は中学一年生の時からこの職業に憧れていたかもしれません。そして、これからはその職業に就けるように頑張ります。

(振り返り 上田脩太)
1年の時より、うまく書けた。タイトルを考えるのに時間がかかったから、次はタイトルから考えて見たい。

(振り返り 東浜ななみ)

今回作文を書いて、1・2年と3年との違いについて考えることができ、自分が頑張らなきゃいけないことなど、知ることができました。このような場での発表の仕方を3年間を通して学ぶことができました。